

<こども育成学科>

こども育成学科では、「愛と奉仕」の建学精神を基盤として、自分を取り巻く全てのものへの慈しみと感謝の心を持ち、専門的な知識や技能をもって、一人ひとりの幼児と向き合い、成長と深く関わることのできる保育者（保育士・幼稚園教諭）の育成を目指している。

本学科のカリキュラムでは、敷地内に附属幼稚園があるという環境を活かし、授業や実習、ボランティアといった場面で附属幼稚園と連携体制をとっている。常に子どもを身近に感じ、子どもの好奇心や探求心等に直に触れることで、「生きた幼児教育実践」を学び、「子どもと一緒に成長できる力」、「豊富な実践力」の獲得を重視している。また、看護学科、健康栄養学科との学科間交流などを通じ、「食育を通じた育児支援のできる保育者」、「病児対応ができる保育者」の育成にも力を注いでいる。このようなカリキュラムの特色を生かし、専門的な知識・技能・実践力を備え、社会に貢献できる幼稚園教諭の養成を目指す。